

やさしさと・・・めくもいと・・・ほほえみと・・・

和寒町特別養護老人ホーム 芳生苑
和寒町短期入所サービスセンター

運営計画書

平成30年度

和寒町特別養護老人ホーム芳生苑は、3本のスローガン「利用者の笑顔があふれる安らげる場を提供します。」「温かい手、温かい心でサービスを提供します。」「住民から信頼される施設を目指します。」に基づいた施設運営を目指します。

介護の専門職としてご利用者ご家族に満足していただけるケアを、自信を持って提供していきます。

ご利用者とともに笑い、喜び合い、関係性を深めながら、日々の生活を心穏やかに過ごしていただけるよう支援していきます。

基本方針

(1) 基本理念

- 1・高齢者自身が喜びに満ち生活意欲が培われる場、共に助け合いながら安心して生活できる場として、施設の役割を意識し、環境や体制を万全に整えてまいります。
- 2・ご利用者やご家族、地域から求められる多大なニーズに応え、より良いサービスを提供していきます。
- 3・地域高齢者福祉の一翼を担う施設として常に向上意欲を持ちながら、施設を持つ人的物的資源を最大限に提供し地域福祉に貢献していきます。

(2) 目標

芳生苑でどんな生活を過ごしてみたいのか、それは、ご利用者の心の中にあります。
その心の声を聞く姿勢を持つのは、私達職員です。
ご家族や地域とも関わり合いながらその人らしい生活を送って頂ける様に日々、努めてまいります。

(3) 事業内容

【委員会活動】

各個人が意識を高め、自ら考え、自ら行動し、ご利用者本人の意向を尊重した活動となるように努めてまいります。各職種間で連携を図り、情報交換や伝達がスムーズに行えるような活動を展開していきます。

目的意識が持てるよう、実践及び研修などの活動内容を計画し、適時評価を行いながら、自己研鑽を深め、ケアの向上等につなげていきます。

★虐待防止検討委員会・身体拘束適正化委員会

目標： 私達全職員は常にご利用者の立場に立ち、尊厳をお守りし安心した生活が送れるようケアに努めていきます。

不適切なケア（グレイゾーン）、虐待の芽を発見した場合は原因分析、対策を講じ、虐待が発生する事のないご利用者主体のサービスに努めてまいります。

ご利用者らしい生活が送れるよう、虐待防止や人権、認知症に関する研修にも積極的に参加し、法律や知識等を学び施設全体で虐待防止への意識向上に努めていきます。

社会人としての倫理、道徳を学び、思いやりの心を持って接していくように職員の面談を通してストレスの把握、軽減に努めていき風通しの良い職場環境の充実、職員育成にも取り組んでいきます。

私達職員は、ご利用者の人権を尊重し、拘束が及ぼす身体や精神への影響について理解を深め、一人ひとりが身体拘束をなくしていこうという姿勢を持って取り組んでいきます。

身体状況において拘束が必要な場合においては、切迫性、非代替性、一時性の3つの要件を十分に検討した上で、ご家族の了解を得て慎重に判断いたします。

★ヒヤリはっと事故対策委員会

目標： 私たちは、安全かつ安心できる生活の支援のために日々のケアに緊張感を持ち、ご利用者の生活観や価値観を理解する中で信頼関係を築き、その人らしい生活を実現するための課題分析をしっかりと行っていきます。

日々のご利用者への支援の中にあるリスクを明らかにし、全体で周知徹底して統一した対応をすすめ、再発防止に努めていきます。

事故防止は、※ヒヤリはっとから事故への発展に着眼することが重要とされることから、日頃からしっかり対処のうえ検証し、未然に事故を防いでいきます。

職員同士の報告や連絡、相談も密に行い、事故発生時には情報共有を図り、類似事案が起こらないよう再発防止に向けて検討し、迅速かつご利用者やご家族に対して誠意ある対応に心がけていきます。

※ヒヤリはっと～重大な事故は起こらないものの、事故に直結してもおかしくない事例の発見のこと

★認知症ケア検討委員会

目標： ご利用者が安心して生活できるよう、ご利用者の立場に立ち認知症という病気の特徴や症状の理解を深めるとともに生活環境面にも配慮し、ご利用者にあったケアの対応方法の検討に努め、他職種と連携も密にしていきます。

ご利用者の心身状態の安定が図れるよう、ご利用者の心に寄り添いながらささやかな仕草にも目を配り、適切な対応ができるように職員同士で情報共有しケアにあたっていきます。

★感染症検討委員会

目標： 感染症に関する学習・研修及び、地域の流行状況などを収集して職員全体に周知徹底を図り、1介助1手洗いを基本におき、感染予防に努めていきます。

職員一人ひとりが感染症に対する知識を持ち、集団感染しないように意識しながらケアにあたり、感染予防に努めていきます。

医療従事者の指示を十分に受け、発症時の適切な対応を行っていきます。

★広報企画検討委員会

目標： 苑の三大大行事（夏まつり、敬老会、クリスマス会）の計画、準備、実施など他職種と連携しスムーズに行えるようにしていきます。

また、季節感を感じていただけるような苑内の設えの工夫や、行事の計画・実施、個々の趣味にあった余暇活動の提供をすすめてまいります。

ご利用者の苑での暮らしをご家族の方々にご覧になっていただけるように苑だよりを定期的に発行していきます。

★食事検討委員会

目標： 食べることは生きる喜びや楽しみでもあります。メニューや食形態などにも工夫を凝らし、食事の時間が楽しいひとときになるように努めていきます。

栄養ケアマネジメントを行い、ご利用者の食欲増進・健康維持につながるように、努めていきます。

食前には嚥下体操を行い、飲み込みの機能を維持できるように取り組んでいきます。

食後は、口元、手指、口腔内を清潔に保ち、病気を予防し、全身の健康保持に努めていきます。

★排泄検討委員会

目標： ご利用者個々の尊厳を尊重し、常に羞恥心に対して心を配るケア、ご利用者個々にあった介助や安心して排泄できるようプライバシーに配慮した環境に努めます。

心地よく排泄できるようにご利用者一人ひとりの排泄状況・リズムに合わせた介助を行うとともに、体調の変化にも迅速に対応してまいります。

排泄用品はご利用者の心身の状態に適したものを使用し、できる限りトイレでの排泄を心掛けた介護を提供していきます。

★入浴検討委員

目標： 清潔の保持、新陳代謝の促進という目的ばかりではなく、心の安らぎや楽しみとしての効果があることを充分理解して援助いたします。安全性を重視し一人ひとりのプライバシーを守り、ご利用者あった介助や浴槽を検討し心も身体も温まる入浴ケアの提供に努めていきます。

ご利用者の満足できる入浴を行うことで、他の生活場面（対人交流・活動参加など）にも意欲が高まる等の効果があることを充分理解して支援いたします。

また、加齢による皮膚トラブルが起こりやすいため、保清、保湿ケアに努めていきます。

★褥瘡検討委員会

目標： ご利用者の身体状態の変化を早期に発見し、褥瘡を作らないように努めてまいります。また、安楽な姿勢で過ごして頂く為に個々に合ったクッション等を随時、検討していきながら皮膚トラブルが起きないように体交、座り直し、保清、保湿、栄養状態等にも配慮してまいります。

★苦情対策委員会

目標： 寄せられた苦情はできるだけ迅速にその内容を調査し、結果を報告・公表します。苦情の処理にあたっては、高齢者虐待の可能性を常に考慮に入れながら速やかに検討し改善いたします。

【健康管理】

日々の健康チェックは看護師、介護職員双方で協力して行い、ご利用者1人1人の身体状態を把握し、体調変化のあるときは、早急に対応してまいります。

健康管理に万全を期し、ご家族にも随時、情報を提供してまいります。

ご利用者の自立を阻害することなく、身体機能を把握し、残存機能を最大限に活かせるよう、生活リハビリを提供してまいります。

【施設介護サービス計画（ケアプラン）】

ご利用者の身体状態などを把握する手段としてアセスメント（課題分析）を十分に行い、全職員が利用者一人ひとりをよく知り、ご利用者自身がその人らしい生活を続けていけるよう、全職員で創意工夫をしながら施設介護サービス計画を立案、実行してまいります。実施後は達成状況を評価し、新たな課題を確認していく等ご利用者にあったサービスを提供してまいります。

ご利用者自身が少しでも生きがいを持って生活できるよう、継続して行っていた事や楽しみにしている事、要望などを伺い、施設介護サービス計画に盛り込みながら実施してまいります。

【職員研修・育成】

ご利用者一人ひとりに対しての基礎的な介護はもちろん、常にご利用者の立場に立ち、職員がお互いに思いやりを持って、全員が心のこもった介護が出来るよう、豊かな人間性を備えた職員の育成に努めてまいります。

さらに、ご利用者と職員の関係が近づけるようにするとともに、ご家族と職員との関係もより密接したものとなるよう日々、コミュニケーションを行うように心がけてまいります。

職員が互いに共感できる心を養いつつ、自主的に計画性を持ち行動できる姿勢、さらには職員としてふさわしい行動がとれるように職員育成に努めてまいります。

職員同士の報告、連絡、相談を密に行い、情報の共有化を図ると共にお互いを尊重し、励まし合い、協力し合う関係作りにも努めてまいります。

ご利用者及びご家族に安心と満足を持っていただける適切な介護サービスを提供するために専門的知識や技術の習得はもとより、思いやりの心を持って介護ができるよう、計画的に全職員で施設内研修や外部研修を積極的に参加し充実を図ります。

また、各職員が日々、積み重ねてきたケアの実践をその経過や成果、ご利用者の想いを言語化し頑張っている取り組みを全職員が共感し合える場としてユニット毎に発表する機会をもうけてまいります。

さらにはかみかわユニットケア研究会などの施設外研修にも積極的に参加し資質向上を図ります。

【地域社会との関わり】

地域住民の理解、協力を得ながら親しまれる施設運営に心がけます。

地域福祉の拠点として施設のその有する資源などを最大限に活用できるように町及び他事業所とのネットワークを密にして、地域との交流や地域貢献に努めていきます。社協だよりを通して、施設の事業内容や取組状況等を定期的に掲載し、情報を発信していきます。

地域に開かれた施設作りの一環としてボランティアや実習生を積極的に受け入れます。

【情報の管理】

定期的な自主点検を行い、情報の整備とサービスの質の向上に努めていきます。

個人情報 の 適正 な 取 り 扱 い に 努 め、 個 人 の 基 本 的 な 人 権 を 侵 害 す る こ と の な い よ う 努 め て い っ き ま す。

各関係機関との連携等において、個人情報が必要とされる際には、充分注意をして取り扱いを行います。

【30年度の主な事業】

- ・ ご利用者の希望に添った行事の取り組み
- ・ 業務改善の検討
- ・ 施設内外各種研修会参加による知識の習得及び技術の向上
(演習・グループワーク等を取り入れた実践力強化の研修会の開催)
- ・ 職員育成体制の充実
- ・ 職員面談の実施
- ・ 各種検討委員会の活動によるケア向上の取り組み
- ・ 防災訓練の実施 (避難誘導訓練・通報訓練・自然災害想定訓練)
- ・ ホームページやSNSを活用しての施設情報公開への取り組み
- ・ サービス内容評価への取り組み (サービス内容自己点検、ご利用者・ご家族満足度調査)
- ・ メンタルヘルスケアの実施
- ・ 施設整備の検討